

1. 社会教育委員の会議

社会教育委員は、社会教育法第 15 条の規定に基づき、教育委員会の諮問機関として昭和 30 年から設置されています。定数は 12 名以内、任期は 2 年（再任は妨げない）で教育委員会が委嘱します。

主な職務は、1. 社会教育に関する諸計画を立案すること 2. 教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること 3. 必要な研究調査を行うことです。また、社会教育に関し意見を述べるすることができます。

社会教育委員名簿

任期 2 年（平成30年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

No. 3、10の委員は任期 2 年（平成30年 4 月 16 日～令和 2 年 3 月 31 日）

※平成 31 年 3 月 31 日現在

No		氏 名	職 名 等 (就任当時)
1	議 長	宇佐見 義尚	板垣與一記念館 館長
2	副議長	板垣 文彦	亜細亜大学 課程主任 教授
3		助友 裕子	日本女子体育大学体育学部 スポーツ健康学科 教授
4		竹内 敬子	成蹊大学文学部 教授
5		舟橋 優子	武蔵野市体育協会 副会長
6		荒井 恵風	武蔵野市民芸術文化協会 理事
7		堀内 雄次郎	公益社団法人 武蔵野青年会議所 監事
8		白田 紀子	NPO法人 武蔵野自然塾 理事
9		北村 淳子	武蔵野市青少年問題協議会 委員
10		秋山 聡	平成 26 年度 P T A 連絡協議会 会長
11		嶋田 晶子	武蔵野市立第五小学校 校長
12		若槻 善隆	武蔵野市立第一中学校 校長

2. 地域の大学等との連携

地域の大学との連携・協力のもと生涯学習を推進するため、平成 5 年 2 月に、市内にある 3 大学（亜細亜大学、成蹊大学、日本獣医生命科学大学）並びに武蔵野市に隣接している 2 大学（東京女子大学、武蔵野大学）の学長と市長による武蔵野地域学長懇談会を設置しました。（平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施）

2 - 1 武蔵野地域五大学共同講演会

武蔵野市と五大学の共同事業として、平成6年度から実施しています。基調講演と、各大学を代表する講師による連続講演会を開催しています。令和元年度の統一テーマは「多様性と調和～『学び』がつなぐ五つの輪」です。

2 - 2 武蔵野地域五大学共同教養講座

平成9年度から五大学共同事業の一つとして開設しました。一大学4回、全20回にわたる長期連続講座を開催しています。

2 - 3 武蔵野市寄付講座

平成11年度より、地方自治体として初めて寄付講座を成蹊大学に開設し、13年度より東京女子大学、14年度より亜細亜大学、15年度より日本獣医畜産大学（現：日本獣医生命科学大学）、16年度より武蔵野大学と中近東文化センターでの講座が始まり、通年または半年の連続講座を行っています。（中近東文化センターでの講座は24年度で終了）

2 - 4 武蔵野地域自由大学

武蔵野市及び武蔵野地域五大学（亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学、日本獣医生命科学大学、武蔵野大学）が連携し、それぞれが保有する教育課程、人材、組織、施設等の資源を活用することにより、高度で継続的及び体系的な学習の機会を提供することを目的として、平成15年4月に武蔵野地域自由大学を開学しました。それぞれの大学に通って一般学生と共に授業を聴講することができます。

①学生数 平成31年3月31日現在（単位：人）

	市内	市外	計
男	613	150	763
女	695	147	842
計	1,308	297	1,605

②正規科目履修者数

平成31年3月31日現在（単位：人）

	市内	市外	計
男	133	21	154
女	115	25	140
計	248	46	294

3. 市民講座

広く市民を対象とした生涯学習の活性化を図るため、昭和 46 年に開設しました。教養・趣味などの講座のほか、地域社会に密着した内容で幅広く学習機会を提供しています。

実施事業	内 容
むさしの サイエンスフェスタ	身近な科学実験を体験することにより、子どもたちに科学の不思議さと面白さを感じてもらい、理科への関心や学ぶ意欲を向上させることを目的に、市立小中学校教員や地域ボランティア、企業、大学等による体験型実験ブースを多数開設する。平成 19 年度より実施。
子育て中の方のための モーニング・コンサート	子どもを持つ親を対象に、託児付きで音楽鑑賞の機会を提供することで、積極的な生涯学習への参加を促進する。
夏休み親子講座 親子 de サイエンス	夏休みに親子で科学の実験や体験をすることで、体験機会の少ない小学校低学年は理科の楽しさを学び、小学校高学年は大学の充実した施設と教材を用いて、科学実験の指導を受けることにより、科学への知識と興味を深める。
中近東文化センター 夏休み親子体験講座	中近東文化センター附属博物館の施設見学と体験講座を通して興味を広げ、知識を深める。（平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。）
いきいきセミナー （前・後期）	昭和 41 年度開設の「老壮大学」を平成 15 年度から「老壮セミナー」、21 年度より「いきいきセミナー」に改名。高齢者に学習と仲間づくりの場を提供することにより、学ぶ喜びの体得や生きがいをもって心身ともに健全な生活をしていくことを支援する。（平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。）
老壮シニア講座 ・趣味の作品展	いきいきセミナー修了生の連合体である市民団体（老壮連合会）が、同修了生等を対象にさらに学習等の機会を提供することにより、高齢者が豊かな生活をしていくことを目的に実施している事業・講座。市教委と共催。「老壮大学院」から平成 15 年度に改名。（平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。）
聴覚障害者教養講座	聴覚障害者が、幅広い教養を身につけ多くの市民とともに学ぶ機会を提供し、その社会活動を援助するため、昭和 48 年に開設された。平成 18 年から武蔵野市教育委員会と武蔵野市聴力障害者協会（現 武蔵野市聴覚障害者協会）との共催になった。（平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。）

4. 土曜学校事業

完全学校週5日制により休みになった土曜日を活用して、学校の授業ではなかなか学べない体験を中心とした学習の場として、小中学生を対象とした「土曜学校」を開設しています。

「ひらめく かんじる かんがえる 楽しい学び舎 土曜学校」をキーワードとし、平成30年度は14講座を実施しました。各プログラムの概要は以下のとおりです。

平成30年度プログラム

① サイエンスクラブ

学校での授業では行われなような理科の実験や観察を楽しくわかりやすく行い、体験し、理科に対する興味や知識を深めます。

② ピタゴラスクラブ

パターンブロックを使い図形の中の法則に気づき、発見することで算数の面白さや楽しさを体験します。この体験を通して、算数により深い興味・関心を引き出します。

③ ピタゴラスクラブⅡ

学校の算数ではあまり扱わない、考えて楽しい問題に触れることで、考えることの面白さ、算数の楽しさを体験します。

④ プロに学ぶ！おかねのしくみ探検隊

実際に金融機関に勤務する社会人からお金のはたらきや役割について直接学習しました。ゲームやクイズを通してお金の計画的な使い方、経済の仕組みについて楽しく、興味や知識を深めます。

⑤ 読む！聴く！伝える！ことば探検隊（平成27年度に「朗読ことばあそび倶楽部」から改名）

専門家による言葉の多様な表現方法により、声の出し方や言葉の響き、読み方の違いなどを感じ、自分の意思を伝えることを通して自主性や社会性を育むとともに、ことばの面白さを体験する講座です。（平成23年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施しています。）

⑥ 世界を知る会・世界を知る会ジュニア

異文化共生社会に適応できる基礎を身に付けることを目的として実施しました。異文化理解の専門家、外国人講師などを迎えて子どもたちが興味を持つ素材（言葉、遊び、音楽、食べ物など）を切り口に、世界の多様な文化や人に触れる機会を提供しました。（平成23年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施しています。）

⑦ 亜細亜大学経営学教室

チーム対抗の経営シミュレーションを通して経営の仕組みを学び、集団での意思決定のために必要なスキルの獲得を目指しました。（平成23年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施しています。）

⑧ 成蹊大学ロボット教室

医療・災害現場などますます人々の生活に関わってきているロボットという素材を通して、自ら考える力を養いました。また実際にロボットを作って動かしてみることで、物作りの楽しさを味わいながら、テクノロジーを理解する機会になりました。（平

成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施しています。）

⑨ 東京女子大学英語体験講座

ゲームや手遊び歌で身体を動かし、楽しみながら英語に親しむアクティビティを通して、英語に関する興味や関心を引き出す体験講座です。（平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施しています。）

⑩ 日本獣医生命科学大学バイオ実験教室

DNA に関する実験やクイズを通じて、わかりやすく生命科学の基礎を学び、理解を深めます。身近なテーマで好奇心を引き出し、科学的な見方や考え方を養います。平成 24 年度より実施しています。

⑪ 武蔵野大学リズム道場

いろいろな太鼓を楽譜のない自由なリズムでたたくことにより、子どもたちの表現力・感受性・柔軟性を高めます。（平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施しています。）

⑫ 東京女子大学パイプオルガン探検隊

パイプオルガンの歴史、構造、仕組みなどについての説明の後、講師による演奏を鑑賞します。また、参加者が実際にパイプオルガンに触れたり、弾いたりします。隔年で実施しています。（平成 23 年度から事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施しています。）

⑬ 森林体験教室

二俣尾・武蔵野市民の森（青梅市）において小・中学生を対象に動植物の生態観察、森の探検、沢遊び、たき火等の自然体験や、間伐、薪割り、木の皮むき、丸太切り、木を組み合わせて作る基地等の林業体験を通じて、森林保全の難しさや大切さを学びます。（平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施しています。）

⑭ スポーツ教室

日頃学校では体験できないスポーツをとおして、心身をきたえるとともに、友達の輪を広げるためのスポーツ教室です。ミニバスケットボール、卓球、バドミントンの 3 種目の講座を実施します。（平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施しています。）

5. 視聴覚教育

5 - 1 視聴覚備品貸出し

平成 30 年度貸出し備品

16 ミリ映写機	3 台
スライド映写機	1 台
16 ミリ映画フィルム	283 本
ビデオテープ	11 本
DVD	6 本
スクリーン	1 本
暗幕	20 枚
OHP	1 台
ビデオプロジェクター	1 台

*その他、生涯学習スポーツ課長が認めたもの

5 - 2 16 ミリ発声映写機検定

公立の視聴覚ライブラリーの 16 ミリフィルムを利用する場合、使用する映写機は各区市町村の行う 16 ミリ映写機検定を受け、検定証明書の交付を受ける必要があります。教育委員会では、毎年 1 回検定を実施しています。

6. 未来をひらくはたちのつどい（成人式）

成人の日に、満 20 歳を迎えた青年男女の新しい門出を祝福して、市・教育委員会・選挙管理委員会の主催による成人式を開催しています。

平成 18 年度より、成人式実行委員会を設置し、新成人世代の協力を得て企画・運営しています。

（平成 30 年度実績）

日 時 平成 31 年 1 月 14 日（月・祝） 午前 10 時 30 分～午後 0 時 15 分
場 所 武蔵野市民文化会館 大ホール
対 象 平成 10 年 4 月 2 日から平成 11 年 4 月 1 日までに生まれ、武蔵野市在住
または出身の方 1,425 名
参 加 者 682 名（参加率 47.8%）

（令和元年度予定）

日 時 令和 2 年 1 月 13 日（月・祝）
場 所 武蔵野市民文化会館 大ホール
対 象 平成 11 年 4 月 2 日から平成 12 年 4 月 1 日までに生まれ、武蔵野市在住
または出身の方

7. 芸術・文化の振興

市民生活をより豊かなものとするため、芸術・文化の鑑賞や体験の機会を提供し、また、芸術文化団体の育成・支援等を、（公財）武蔵野文化事業団とも連携して行っています。

事業名	内 容
市民文化祭	市民による自主的な芸術文化の祭典として、平成 2 年より武蔵野市民芸術文化協会に事業の企画運営を委託している。 芸術文化活動の創造と発表の機会を提供し、市民相互の交流を深めることを目的として実施している。 令和元年度：32 事業
市民芸術文化協会の育成	昭和 63 年 10 月に発足した市民芸術文化協会の自主イベント事業や芸文講座の等の運営に対して育成支援している。 令和元年度：自主イベント（19 事業）、芸文講座（2 事業）
小中学校への音楽指導・交流事業	市内を拠点として活動し、長年小中学校への音楽指導にも携わってきた武蔵野市民交響楽団に、市内小中学校への技術指導や音楽による交流等を目的とした事業の実施を委託している。 武蔵野市民交響楽団 昭和 50 年創団 団員 179 名（平成 31 年 4 月 1 日現在）

8. 文化財保護・普及

文化財の保存及び活用と市民の文化財保護意識の向上を図るため、昭和 45 年に文化財保護条例を制定し、文化財保護委員会議、文化財の調査・収集、指定文化財の保護、埋蔵文化財の調査などの文化財保護事業と文化財講座、文化財の展示・活用などの文化財普及事業を行っています。

8 - 1 文化財保護委員

文化財保護行政を進めていく上で、専門的知識を必要とする事項に関する諮問機関として、武蔵野市文化財保護条例に基づき文化財保護委員を設置しています。委員は、高い見識を有する学識経験者の中から市教育委員会が委嘱し、任期は2年です（ただし再任を妨げない）。

文化財保護委員名簿

(任期 平成 30 年 10 月 7 日～令和 2 年 10 月 6 日)

氏名	現職等	専門分野	委員経歴
松尾 美恵子	学習院女子大学名誉教授	日本近世史	委員歴（平 8 年 10 月～） 議長（平 30 年 10 月～）
内川 隆志	國學院大学博物館 副館長 國學院大学研究開発推進機構教授	考古学・ 博物館学	委員歴（平 10 年 10 月～） 副議長（平 30 年 10 月～）
森 安彦	国文学研究資料館名誉教授	日本近世史	委員歴（昭 45 年 7 月～）
稲葉 和也	建築史家	建 築 史	委員歴（平 14 年 10 月～）
深井 雅海	聖心女子大学教授	日本近世史	委員歴（平 14 年 10 月～）
林 譲	東京大学史料編纂所教授	日本中世史	委員歴（平 14 年 12 月～）
濱野 周泰	東京農業大学教授	造園樹木学	委員歴（平 16 年 10 月～）
川瀬 恵子	元・武蔵野市民俗資料調査収集協力 員	民俗資料	委員歴（平 20 年 10 月～）
中野 達哉	駒澤大学教授	日本近世史	委員歴（平 20 年 10 月～）
久保田 裕道	東京文化財研究所 無形民俗文化財研究室長	民俗学	委員歴（平 27 年 10 月～）

8 - 2 文化財保護事業

文化財保護のため、下表のような事業を行っています。

事業名	内 容	対 象
指定文化財保護	指定文化財を適切に保護・管理する。市指定文化財の管理者に対して維持管理謝礼を給付している。必要に応じて補修事業も行っている。	国・都・市指定文化財
埋蔵文化財保護	埋蔵文化財包蔵地における土木工事等を監視し、現状保存が不可能な場合は、発掘調査等の手法で記録保存を行う。また、範囲確認調査などを行い、市内遺跡の詳細把握に努める。	市内随時実施
文化財資料調査収集	市内の有形・無形の文化財・歴史資料を調査収集する。	市内随時実施

8 - 3 文化財普及事業

文化財保護意識の向上と普及を目的として下表のような事業を行っています。

事業名	内 容
文化財講座	<p>◎古文書解読講座（初級編・特別講義編） 市内に存する近世の古文書群を解読することにより、郷土の時代背景を学び、郷土と文化財に対する理解と関心を高める。昭和 50 年開設。</p> <p>◎むさしのばやしチビッコ教室 市指定文化財「むさしのばやし」の保存と継承者育成。また、武蔵野市の郷土芸能を体感することで、子どもたちが地域に愛着を感じ、まちを大切にす豊かな心を育む。</p> <p>◎むさしの発見隊 地域の様々な資源や場所について、歴史・文化・自然の各分野から多角的、総合的に学ぶ機会を提供し、小学生に「武蔵野市らしさ」を伝えること等を目的として事業を実施している。</p> <p>◎まゆだまづくり教室 武蔵野市域で伝承されてきた「まゆだまづくり」は家の繁栄を願って行ったものであり、こうした郷土の文化に親しんでもらう。</p> <p>◎井の頭自然文化園動物観察教室 学校では体験できない天然記念物をはじめとする希少動物とのふれあいを通じて、天然記念物の保護及び生態系バランスの維持の大切さを知ってもらい、また自然科学への興味や知識を深めてもらう。</p> <p>◎連続講演会「武蔵野考古学探訪」 井の頭池周辺の弥生時代以降についてを知るための資料が少ないため、多摩地域や関東地方の調査事例をもとに、縄文時代から中世までの郷土の歴史について興味、理解と関心を深める。（全 4 回 ①平成 31. 3. 16（土）／②3. 17（日）／③3. 23（土）／④3. 30（土）各日 13:30～15:00、受講者 ①40 人、②40 人、③42 人、④40 人）</p>

文化財展示	市内の文化財（指定文化財・埋蔵文化財・民俗資料）を定期的に展示・公開することによって、文化財に対する市民の関心と理解を促し、保護意識の向上を目指す。
その他	「文化財防火デー(1月26日)」・「多摩郷土誌フェア」等の事業を通して、文化財保護意識の向上に努める。

8 - 4 指定文化財一覧

文化財保護条例に基づき、文化財を有形文化財・有形民俗文化財・無形民俗文化財・史跡・天然記念物に分類し、市民全体の文化財として後世に伝えるべきものを選んで指定しています。

①武蔵野市指定文化財

市指定有形文化財	
名 称	所 在 地
旧関前村名主役宅	八幡町 個人
延命寺の護摩炉	八幡町-1-2 延命寺内
安養寺の梵鐘	吉祥寺東町 1-1-21 安養寺境内
井口家古文書	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 八幡町 個人
月窓寺の乾漆造白衣観音坐像	吉祥寺本町 1-11-26 月窓寺内
観音院の来迎阿弥陀如来像	境南町 2-4-8 観音院境内 (所有者) 境 個人
武蔵野八幡宮の蕨手刀	吉祥寺東町 1-1-23 武蔵野八幡宮
井口家の高札	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 八幡町 個人
井野家古文書	西久保 個人
河田家古文書	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 吉祥寺本町 個人
榎本家古文書	西久保 個人
村絵図と野帳	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※
御門訴事件記念碑	八幡町 個人
仙路翁墓碣碑	吉祥寺本町 1-10 蓮乗寺境内
武蔵野八景碑	境南町 2-10 杵築大社境内

※については、武蔵野ふるさと歴史館が管理を行っています。

市指定有形民俗文化財	
名 称	所 在 地
小林家の民間信仰資料	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※
高橋家の民間信仰資料	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※
岡田家の民間信仰資料	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 緑町 個人
秋本家の民間信仰資料	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 関前 個人
稲荷神社の絵馬	緑町 1-6-5 稲荷神社神楽殿内

岡田家の民間信仰資料 「だらにすけの看板」	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※
安養寺の甲辛(庚申)供養塔	吉祥寺東町 1-1-21 安養寺境内
更新橋の庚申塔	緑町 3-828 先 (緑町 3 丁目 2 番)
境南町の庚申塔	境南町 3-782-3 (境南町 3 丁目 25 番)

市指定無形民俗文化財	
名 称	所 在 地
むさしのばやし	むさしのばやし保存会

市指定史跡	
名 称	所 在 地
杵築大社の富士山	境南町 2-10 杵築大社境内

市指定天然記念物	
名 称	所 在 地
成蹊学園のケヤキ並木	吉祥寺北町 3 丁目 成蹊学園
井口家のサンシュユ	八幡町 個人
井口家の大ツバキ	八幡町 個人
源正寺のイヌツゲ	緑町 1-6 源正寺境内
高橋家の大ケヤキ	境 3-10 境三丁目緑地内
杵築大社の千本イチョウ	境南町 2-10 杵築大社境内
竹内家のカキの木	境南町 個人
ふじの実保育園のフジ	緑町 3-4-3 ふじの実保育園内

②市内にある東京都指定文化財

名 称	種 別	所 在 地
江戸氏牛込氏文書	有形文化財	西久保 個人
吉祥寺旧本宿のケヤキ	天然記念物	吉祥寺本町 個人
井の頭池遺跡群	史 跡	御殿山 1 丁目、吉祥寺南町 1・3 丁目

③市内にある国指定文化財

名 称	種 別	所 在 地
小金井 (サクラ)	名 勝	桜堤
玉川上水	史 跡	桜堤～御殿山
カラスバト	天然記念物	井の頭自然文化園
タンチョウ	特別天然記念物	井の頭自然文化園
コウノトリ	特別天然記念物	井の頭自然文化園
カモシカ	特別天然記念物	井の頭自然文化園
ツシマテン	天然記念物	井の頭自然文化園
ツシマヤマネコ	天然記念物	井の頭自然文化園
オオサンショウウオ	特別天然記念物	井の頭自然文化園水生物館
ミヤコタナゴ	天然記念物	井の頭自然文化園水生物館

④市内にある国登録文化財

名 称	種 別	所 在 地
濱家住宅西洋館	有形文化財	吉祥寺北町 個人

8-5 武蔵野ふるさと歴史館事業

管理運営基本方針に基づく歴史館の運営を適切に行い、広く来館者に対して魅力あふれる取り組みを行っています。

平成30年度は、向こう5年間を期間とする、第2期の管理運営基本方針の初年度として、武蔵野ふるさと歴史館の運営を行いました。

また、公文書館機能を果たすために、必要不可欠な公文書専門員（アーキビスト）による歴史公文書等の調査整理作業を推進するとともに、全庁的な歴史公文書等への理解と、適切な文書管理のための研修会等を実施し、啓発を図っています。

① 開館日数・来館者

◎開館期間

平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

◎開館日数

291日

◎来館者

35,614人

◎一日当たりの平均来館者数

122.38人

② 企画展示

◎企画展「武蔵野のうどん」

日時：平成30年5月19日（土）～7月19日（木）

場所：第二展示室・市民スペース

◎企画展「考古学への情熱～井の頭池遺跡群発掘史、はじまりは御殿山から～」

日時：平成30年7月28日（土）～9月27日（木）

場所：第二展示室・市民スペース

◎企画展 中島飛行機関係資料展示「中島飛行機武蔵製作所副長の手帳から見る空襲」

日時：平成30年10月13日（土）～12月27日（木）

場所：第二展示室・市民スペース

◎企画展 学校教育連携展示「古老が語る、武蔵野のくらし」

日時：平成31年1月19日（土）～4月25日（木）

場所：第二展示室・市民スペース

③ 企画展「武蔵野のうどん」関連事業

◎展示「うどん博士加藤有次先生と武蔵野市」

日 時 平成30年5月19日（土）～7月19日（木）

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース

◎講座「うどんづくり教室」

日 時 平成 30 年 6 月 23 日（土）午前 9 時 30 分～午後 2 時
場 所 市民会館
講 師 武蔵野市給食・食育振興財団
内 容 武蔵野市域産の小麦を使ったうどんづくり体験
対 象 小学校 3 年生～6 年生及び中学生（小学生は保護者同伴）
応募者 44 名
参加者 10 名

◎特別講演会「武蔵野の食文化 - 粉もの抄 -」

日 時 平成 30 年 7 月 1 日（日）午後 1 時 30 分～3 時
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース
講 師 増田 昭子（立教大学亜細亜地域研究所特任研究員）
内 容 武蔵野台地のうどんや粉食などの食文化について解説しています。
応募者 36 名
定 員 36 名

◎イベント「三遊亭右左喜落語会～教育委員は、噺屋～」

日 時 平成 30 年 6 月 30 日（土）午前 11 時～午後 12 時
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース
講 師 三遊亭 右左喜（小出 正彦教育委員）
内 容 「時うどん」などうどんにちなんだ落語。
対 象 小学生以上
応募者 150 名
参加者 94 名

◎展示解説

日 時 平成 30 年 7 月 8 日（日）午後 1 時 30 分～2 時
会 場 武蔵野ふるさと歴史館 第二展示室
講 師 米崎 清実・波田 尚大（武蔵野ふるさと歴史館学芸員）
参加者 4 名

④ 企画展「考古学への情熱～井の頭池遺跡群発掘史、はじまりは御殿山から～」関連事業

◎特別講演会「旧石器時代の武蔵野台地－石器から復元する遊動型狩猟採集民の行動戦略－」

日 時 平成 30 年 8 月 25 日（土）午後 1 時 30 分から 3 時
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース
講 師 鈴木 美保（東京大学総合研究博物館 学術支援専門員）
内 容 旧石器時代の暮らしや武蔵野台地の主要な遺跡についての講演。
応募者 43 名
参加者 42 名

◎ワークショップ「「縄文時代」をさわってみよう」

日 時 平成 30 年 9 月 9 日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース
講 師 堀江 武史（修復家・（有）府中工房主宰）
内 容 縄文時代の解説、縄文土器・耳飾り・土偶・石鏃など実際に資料に触れる体験、縄文の模様を粘土と縄文原体をつかって施文する体験、顔料づくり体験。
対 象 小学校 3 年生～6 年生及び中学生
応募者 25 名

参加者 14名

◎展示解説

日時 平成30年8月4日(土) 午後1時30分～2時
平成30年8月12日(日) 午後1時30分～2時
場所 武蔵野ふるさと歴史館第二展示室
講師 紺野 京(武蔵野ふるさと歴史館文化財指導員)
参加 8月4日 4名/8月12日 10名

⑤ 企画展 中島飛行機関係資料展示「中島飛行機武蔵製作所副長の手帳から見る空襲」関連事業

◎講演会「中島飛行機の興亡と航空エンジンの開発・生産」

日時 平成30年10月27日(土) 午後2時～4時
場所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース
講師 佐藤 達男(元榊富士エアロスペーステクノロジー常務取締役)
内容 中島飛行機武蔵製作所におけるエンジン生産についての経済史の視点からの講演。
参加者 57名

◎記念講演会「地域教材『中島飛行機』を絆の軸にして」

日時 平成30年11月11日(日) 午後2時～4時
場所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース
講師 大久保 俊輝(亜細亜大学特任教授)
内容 中島飛行機を語り継ぐ取り組みとして、教材としての活用の視点からの講演。
参加者 52名

◎上映会および監督ミニトーク「陸軍前橋飛行場 私たちの村も戦場だった」

日程 平成30年11月18日(日) 午後2時～4時
場所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース
講師 飯塚 俊男(映画監督)
内容 映画上映及び米国国立公文書館原蔵資料の利用についての監督ミニトーク。
参加者 94名

◎展示解説

日時 平成30年11月4日(日)・12月8日(土) 午後1時30分～2時
場所 武蔵野ふるさと歴史館第2展示室
講師 高野 弘之(武蔵野ふるさと歴史館公文書専門員)
参加 11月4日 22名/12月8日 26名

⑥ 企画展 学校教育連携展示「古老が語る、武蔵野の暮らし」

◎企画展関連展示「作家たちによって語られた武蔵野」

日時 平成31年1月19日(土)～4月25日(木)
場所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース

◎展示解説

日時 平成31年2月17日(日)・3月10日(日) 午前11時～12時
場所 武蔵野ふるさと歴史館第2展示室

講 師 波田 尚大（武蔵野ふるさと歴史館学芸員）

参 加 2月17日 1名/3月10日 7名

⑦ 特集展示

◎武蔵野のひな祭り

日 時 平成30年2月15日（木）～4月12日（木）

場 所 第一展示室

◎武蔵野の五月節供

日 時 平成30年7月1日（日）～8月30日（木）

場 所 第一展示室

◎武蔵野の粉食

日 時 平成30年7月1日（日）～8月30日（木）

場 所 第一展示室

◎新指定の文化財

日 時 平成30年9月15日（土）～11月15日（木）

場 所 第一展示室

◎寒さと雪と武蔵野の人々

日 時 平成30年12月1日（土）～平成31年2月23日（土）

場 所 第一展示室

協 力 成蹊学園気象観測所

⑧ 特集展示関連事業

◎講演会「近世武蔵野の教育」

日 時 平成30年10月13日（土）午後1時30分～午後3時

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 会議室

講 師 石山 秀和（立正大学文学部准教授）

内 容 江戸時代の庶民教育機関である手習塾（寺子屋）について、特に武蔵野市域の事例を中心に解説。

応募者 26名

受講者 24名

◎講演会「「武蔵野八景碑」に刻まれた「史」と「詩」」

日 時 平成30年10月20日（土）午後1時30分～午後3時

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 会議室

講 師 大山 岩根（亜細亜大学経営学部准教授）

内 容 「武蔵野八景」の特徴とその選定の背景を探り、「武蔵野八景」を詠じた漢詩を解説することで理解を深める。

応募者 39名

受講者 47名

◎ワークショップ「雪の結晶を作って撮影してみよう」

日 時 平成31年2月2日（土）午後2時～午後3時30分

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 ワークスペース

講 師 宮下 敦（成蹊大学理工学部教授）

共 催 成蹊学園サステナビリティ教育研究センター

内 容 武蔵野の気象情報を100年近く記録してきた「成蹊気象観測所」の紹介と雪の結晶の作成実験を行い、スマホ・タブレットを使用した撮影方法のレクチャーを行いました。

応募者 48名

受講者 30名

⑨ 企画展連動事業

◎プレ事業 企画展「戦争と武蔵野Ⅳ」

日 時 会場1：平成30年7月27日（金）～8月14日（火）

会場2：平成30年7月28日（土）～8月19日（日）

場 所 会場1：武蔵野市役所1階ロビー

会場2：武蔵野ふるさと歴史館 会議室

⑩ 学校教育及び地域との連携事業

平成30年度の学校教育及び地域との連携事業は、「学校教育連携展示の作成」「見学の対応」「武蔵野の3年生が学んだ『ふるさと昔新聞』展の開催」「学校出張展示の実施」「学校出張講座」「中学生職場体験の受入」「大学・大学院等での授業受入」「各種団体の受入」「博物館実習生の受入」「フェローシップ（特別研修生）制度の実施」以上10の事業を実施しています。

◎見学の対応

上記の学校教育連携展示の際に、小学校3学年からの見学を受け入れているほか、他の学年、中学校・高等学校から見学等の申し込みがあった際には対応している。展示解説のほか、体験プログラムなども用意しています。

学校見学日程表

見学日	学校名	時間	児童数
平成30年 4月23日（月）	聖徳学園アフタースクール	13:00-14:00	20
12月20日（木）	井之頭小学校	10:00-11:30	74
平成31年 1月15日（火）	桜野小学校	13:30-15:00	39
1月17日（木）	桜野小学校	13:30-15:00	37
1月22日（火）	井之頭小学校	10:00-11:30	71
1月23日（水）	境南小学校	9:30-11:00	87
1月24日（木）	第一小学校	9:40-11:40	70
1月28日（月）	関前南小学校	10:00-12:00	40
1月29日（火）	大野田小学校	9:30-11:30	144
1月30日（水）	第二小学校	10:00-11:50	76
1月31日（木）	桜野小学校	13:30-15:00	73
2月5日（火）	桜野小学校	10:00-12:00	75
2月6日（水）	千川小学校	9:30-11:30	49
2月7日（木）	桜野小学校	10:00-12:00	75
2月14日（木）	第四小学校	10:00-11:30	54
2月18日（月）	本宿小学校	10:00-11:30	63
2月19日（火）	第五小学校	10:00-12:00	77

2月21日(木)	第三小学校	10:00-11:30	72
----------	-------	-------------	----

※4月23日は5・6年生、12月20日は6年生、1月15日、17日、31日は4年生の対応をしている。

◎武蔵野の3年生が学んだ『ふるさと昔新聞』展の開催

内 容 当館に見学に来た児童が制作した『ふるさと昔新聞』を当館で展示した。若い世代による「かつての武蔵野像」が描かれており、当館の資料への新しい視点を見ることができます。

期 間 平成31年3月26日(火)から4月9日(火)

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 特集展示コーナー

◎学校出張展示の実施

学校出張展示は本宿小学校2階のホールに、年中行事に親しんでもらうことを目的として実施した。「上巳の節供」と「端午の節供」にあわせてそれぞれの人形飾りなどを展示しています。

◎学校出張講座

小学校からの依頼により、館長職・学芸員・公文書専門員の出張講座を行っています。

学校名	日程	学年(人数)	内容
境南小学校	7月17日(火)	6学年(77)	総合的な学習 町のよさについて
井之頭小学校	2月16日(土)	3学年(71)	洗濯板体験
本宿小学校	2月23日(土)	3学年(62)	どうぐのうつりかわり

◎中学生職場体験の受入

中学生の職場体験の受入は以下の表のとおり実施しています。展示解説や館の概要などを説明したあと、ワークシートの作成や武蔵野ふるさと歴史館所蔵の資料の目録作りの補助、資料のクリーニングなど、学芸員の日頃の業務を体験しています。

学校	日程	受け入れ人数
第二中学校	平成30年 5月29日(火)～31日(木)	6人
第五中学校	9月20日(木)	1人
第一中学校	9月26日(水)	2人
共立女子 第二中学校	11月22日(木)	1人

◎大学・大学院等の授業の受入

大学・大学院等の授業で下記の団体を受け入れています。

学校	日程	授業科目等	人数
亜細亜大学	平成30年 5月14日(月)	特別活動論	31人
亜細亜大学	5月28日(月)	特別活動論	29人
亜細亜大学	6月11日(月)	特別活動論	29人

亜細亜大学	6月16日(土)	特別活動論	6人
亜細亜大学	6月25日(月)	特別活動論	28人
日本獣医生命科学大学	7月7日(土)	生涯学習概論	26人
國學院大學大学院	7月28日(土) ～7月30日(月)	日本伝承文化実習	9人
東京都立西高等学校	8月26日(日)	人間と社会	2人
日本女子大学	9月10日(月)	博物館実習	15人
亜細亜大学	10月9日(火)	街づくり未来塾	80人
亜細亜大学	10月22日(月)	特別活動論	18人
中央大学大学院	10月30日(火)	アーカイブスカレッジ	1人
亜細亜大学	11月5日(月)	特別活動論	12人
亜細亜大学	11月12日(月)	特別活動論	21人

◎各種団体の受入

その他、各種団体での来館の対応を行いました。その際に武蔵野ふるさと歴史館の文化財指導員・学芸員・公文書専門員による展示解説やレクチャーを行っています。

団体名	日程	人数	内容
武蔵野市立小中学校教育研究会社会科学部会	6月6日(水)	13	学校教育連携事業について
武蔵野プレイスキいきセミナー	10月4日(木)	28	展示解説
所沢市古文書研究会	10月14日(日)	19	武蔵野市の古文書について
マルセサロン(武蔵野市いきいきサロン事業)	10月24日(水)	17	「武蔵境の歴史と人々の生活」
武蔵野プレイス(新人研修)	11月8日(木)	41	展示解説/館について

◎博物館実習生の受入

将来、博物館や公文書館の仕事に従事することを希望する者を対象として博物館法に則り、博物館実習生の受入を行っています。

学校	日程	受け入れ人数
中央大学 文学部	平成30年8月27日～9月3日(金・土を除く6日間)	1人
東京女子大学 現代教養学部	〃	1人

◎フェロシップ(特別研修生)の受入

将来、博物館や公文書館の仕事に従事することを希望する大学院在学中または修了者、もしくは大学院修了者と同程度の能力・経験を有する若手研究者の

受け入れを行っています。

京都大学大学院 人間・環境学研究科 1名（平成30年9月1日～）

⑪ 歴史公文書等の移管・保存・公開

保存期間が満了した行政文書のうち、歴史資料として重要な公文書等を、武蔵野ふるさと歴史館に移管、保存、公開しています。

◎平成30年度廃棄対象文書の選別

平成29年度末で保存年限を満了した行政文書について、要綱、選別基準及びガイドラインに基づき、以下のとおり選別を実施していました。

・移管 153点 ・年限変更 1点 ・廃棄 8,752点（過年度分を含む）

移管：歴史公文書等に該当し、教育委員会で保存するもの

廃棄：歴史公文書等には該当せず、溶解等によって廃棄処分するもの

年限変更：主管課の業務上の必要性のため、30年保存文書の保存年限を10年間延長、10年以下保存文書は、より長い保存年限に変更した文書

◎歴史公文書等の移管・選別に関する総務課との協力

4月16日（月）、同19日（木）、同25日（水）に総務課主催のファイリング担当および文書取扱主任研修会、12月12日（水）に総務課主催の文書移管説明会において、歴史館、公文書館機能、歴史公文書の移管・選別等について説明を行いました。

◎歴史公文書等管理委員会の設置及び開催

武蔵野市歴史公文書の管理に関する条例第25条第1項の規定により、公文書等管理委員会を設置しています。

平成30年度歴史公文書等管理委員会

日時：平成31年3月6日（水）午前10時00分～11時00分

会場：ふるさと歴史館 会議室

歴史公文書等管理委員会 委員名簿（任期：平成30年1月27日～令和2年1月26日）

名前	所属
安念 潤司	委員長・中央大学法学部教授
小川 まゆみ	小川法律事務所 弁護士
中野 達哉	駒澤大学文学部教授
船崎 尚	武蔵野市図書館運営委員会委員長
室井 敬司	亜細亜大学法学部教授

◎歴史公文書等の利用請求

4件24点（一般利用 18点 庁内利用 6点）

◎歴史公文書等に関する保存管理

（ア）明治期作成の1点、大正期作成の8点を含む計22点の修復を業者に委託して実施しています。

（イ）市制施行以後作成の歴史公文書に対し、酸性紙性表紙の換装、金属具の除去、粘着テープの剥離等の作業を実施し、文書の劣化を予防しています。

◎歴史公文書等に関する普及活動

(ア) 出講

市民向け講座に講師として出講し、歴史館の公文書館機能および歴史公文書の意義について普及活動を行っています。

・平成30年11月20日(火) きりん塾(市民による自主学習団体) 参加者14名

(イ) 公文書管理にかかる職員研修

日 時 平成31年1月28日(月)

講 師 加藤 丈夫(国立公文書館館長) 「時を貫く記録を守る～公文書管理の充実に向けた取組み～」

太田 富康(埼玉県立文書館副館長) 「文書館・歴史館における歴史公文書の市民利用」

参加者 47名

内 容 公文書館機能および歴史公文書に関する知識の深化を目的とし、課長級職員を対象とした講演会を実施しています。

⑫ 文化財保護委員特別講義「それは御殿山からはじまった - 井の頭池遺跡群の重要性と文化財保護のあゆみについて -」

日 時 平成30年9月2日(日) 午後1時30分～3時

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース

内 容 文化財保護のあゆみと武蔵野市の文化財保護及び井の頭池遺跡群調査の歴史について解説。

講 師 内川 隆志(市文化財保護委員・國學院大學研究開発推進機構教授)

参加者 42名

⑬ 子ども体験講座

◎「大昔の暮らし体験 - 狩り -」

日 時 平成30年7月22日(日) 午前10時～午後1時30分

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 第1展示室・市民スペース

講 師 林 徹(国際基督教大学講師)

内 容 旧石器時代・縄文時代の生活や狩りの道具解説と体験。

応募者 市内在住・在学の小学3年生～中学3年生

受講者 29名

◎「大昔の暮らし体験一食」

日 時 平成30年10月27日(土) 午前10時～午後1時30分

場 所 市民会館料理室

講 師 林 徹(国際基督教大学講師)

内 容 縄文時代の生活の解説や縄文鍋等を使用した調理と実食、火起こし体験等。

応募者 市内在住・在学の小学3年生～中学3年生 49名

受講者 12名(保護者11名)

⑭ 武蔵野市歴史探訪講座「武蔵野ふるさと歴史館に、紙芝居一座がやってくる！」

第1回 平成30年5月27日(日) 午後1時30分～・午後2時30分～(各30分)

第2回 平成30年7月22日(日) 午後1時30分～・午後2時30分～(各30分)

第3回 平成30年9月30日(日) 午後1時30分～・午後2時30分～(各30分)

第4回 平成30年11月25日(日) 午後1時30分～・午後2時30分～(各30分)

第5回 平成31年1月27日(日) 午後1時30分～・午後2時30分～(各30分)

第6回 平成31年3月24日(日) 午後1時30分～・午後2時30分～(各30分)
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース
対象者 来館者
講 師 武蔵野昔話紙芝居一座“むさしの”
参加者 162名(大人114名、子ども48名)
内 容 昔懐かしい紙芝居で、武蔵野市の歴史や昔話を幅広い年齢層の方にご覧いただき、武蔵野への理解を深めています。

⑮ 中島飛行機武蔵製作所関連資料調査

概 要 中島飛行機武蔵製作所関連資料調査は、太平洋戦争中および戦後にアメリカ軍等が作成・収集した中島飛行機武蔵製作所関連資料を調査するというものであり、業者委託により、アメリカ・メリーランド州にある米国国立公文書館新館(Archives 2)にて行いました。平成30年度はこれを補完する形で日本国内の国立・公立アーカイブス(国立公文書館、防衛省防衛研究所等)に保存されている資料の調査を実施しています。

⑯ 情報発信事業

武蔵野ふるさと歴史館では、各種企画展・イベント等の広報、日頃の調査・研究の成果や活動などについての情報発信を行っています。以下、主要なものをあげています。

◎歴史館催し物案内

開催予定の企画展・イベント等の紹介を行いました。(2-3ヵ月に1回)

◎『武蔵野ふるさと歴史館だより』の発行

調査・研究成果の一部をまとめたもの。平成30年度2回発行しました。

◎武蔵野ふるさと歴史館 Twitter の開設

開催予定の企画展・イベントの紹介、調査研究成果の一部の発信を行いました。(随時)

◎武蔵野ふるさと歴史館 Facebook の開設

開催予定の企画展・イベントの紹介、調査研究成果の一部の発信を行いました。(随時)

9. 学校開放

生涯学習社会における学習、文化及びスポーツなどの地域活動の場として、小学校、中学校の施設を、学校教育に使用する時間を除き、市民に積極的に開放しています。平成4年10月には「武蔵野市立学校施設の開放に関する条例」を制定しました。

条例では、学校長は、学校開放に伴う管理上の責任を負わないものとするほか、施設の使用は、原則として有料とすることが盛り込まれています。

9 - 1 団体開放

条例の趣旨に従い、市立小中学校の校庭、体育館、テニスコート、特別教室、プールを各種団体に対して年末年始を除く毎日、午前9時から午後9時までの間で、学校教育で使用する時間を除いて開放しています(有料)。使用できる団体は、構成員の半数以上が市内在住・在勤・在学していることが必要です。なお、特に認められた団体や、高齢者・障害者団

体については、減免の規定があります。現在次のような活動を行う団体が使用しています。

野球・サッカー・剣道・空手・合気道・バレーボール・インディアカ・卓球・テニス・バスケットボール・バドミントン・ダンス・コーラス等

9 - 2 市民スポーツデー

市民の体力向上とスポーツ振興の一環として、健康で明るく豊かな市民生活に寄与し、あわせて家族・学校・地域の一体化を図るため、7月・8月・3月を除く毎月第3日曜日をスポーツデーと定め、市立小学校 12 校の校庭及び体育館を開放しています。（現在は各校年5回開催）

10. 小中学校への音楽指導・交流事業

市立小中学生の音楽活動に対して指揮指導等の支援を行うことにより、演奏技術の向上や専門知識を習得し、音楽活動のより一層の発展を図ります。

小学校ではクラブ・団体への合奏指導やパート練習指導、中学校ではむさしっこバンド（市立中学生による合同バンド）の練習指導と演奏会本番の指揮について支援しています。

小中学校への音楽指導・交流事業	市内を拠点として活動し、長年小中学校への音楽指導にも携わってきた武蔵野市民交響楽団に、市内小中学校への技術指導や音楽による交流等を目的とした事業の実施を委託している。 武蔵野市民交響楽団 昭和 50 年創団 団員 179 名（平成 31 年 4 月 1 日現在）
-----------------	---

11. 市民会館の活用

11-1 市民会館の概要

昭和43年9月現在地において市立第二小学校の移転に伴い、その木造二階建ての校舎を利用して開館したのが始まりです。

開館当初は市民のための貸館業務が主でしたが、施設の老朽化が進み、昭和59年10月全面改築を行い現在の市民会館に生まれ変わりました。

この改築を契機に市民の生涯学習への関心や認識が一層高まる中で、従来の貸館業務のほかに市民会館の自主事業を行うようになりました。

今日、市民会館は武蔵野市の社会教育の振興、市民及び地域社会の文化の向上と福祉の増進に寄与するための学習活動の拠点として、多くの市民及び団体に利用されています。

施設面では講座室・学習室をはじめ音楽室・美術工芸室・料理室の専用施設を有し、幅広く市民の学習に利用されています。

また、自主事業は、青少年教育として子どもワークショップ・遊びのミニ学校、成人教育として母と子の教室・市民講座等を開催しています。

なお、利用団体の学習成果の発表、団体間の交流の場として市民会館文化祭を開催しています。

平成28年10月より、男女平等推進センター「ヒューマンあい」が併設されました。

① 施設概要

施設名	武蔵野市立武蔵野市民会館
設立年月	昭和59年10月
所在地	武蔵野市境2-3-7 TEL 0422-51-9144
交通機関	JR中央線武蔵境駅北口 徒歩5分
構造	鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階
規模	敷地面積 1,541.31 m ² 建築面積 890.763 m ² 延床面積 2,086.38 m ² (駐車場・駐輪場・花壇面積 1,122.90 m ²)
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	毎週木曜日、年末年始
使用料	原則として有料、社会教育関係団体等については減免措置あり
職員	再任用職員2名、嘱託職員3名、管理嘱託員6名

② 施設の内容

階	施設名	面積 (㎡)	定員 (名)	主な設備・器具
1階	ロビー・ミーティングルーム	103	55	冷水機、団体用ロッカー、展示用吊り金具
	保育室	98	30	流し台、砂場、幼児用トイレ
	印刷室	17		コピー機、デジタル印刷機、裁断機
	倉庫	17.5		
	事務室	71		
2階	講座室	73	45	TV、ビデオ、DVDプレイヤー、CDラジカセ、スクリーン
	第1学習室	60	30	TV、ビデオ、DVDプレイヤー、CDラジカセ、スクリーン
	第2学習室	59	30	TV、ビデオ、DVDプレイヤー、CDラジカセ、スクリーン
	会議室	43	12	TV、ビデオ、DVDプレイヤー、CDラジカセ、カーペット敷き、スクリーン
	多目的ルーム	59	28	鏡、バー、板張り、CDラジカセ
	第1和室	21畳	21	床の間、茶道具一式、水屋、座卓、座布団、CDラジカセ
	第2和室	15畳	15	座卓、座布団、CDラジカセ
	美術工芸室	73	30	イーゼル、陶芸窯、ろくろ、CDラジカセ
地階	料理室	81	24	調理台(4台)、電子レンジ、オーブン、冷蔵庫、調理器具、食器類一式、CDラジカセ
	音楽室	93	44	TV、グランドピアノ、五線黒板、指揮台、譜面台、音響設備、スクリーン、CDラジカセ、DVDプレイヤー
	集会室	155	90	TV、ビデオ、CDラジカセ、スクリーン、ピアノ(アップライト)、音響設備、マイク設備、暗幕、演台
	中庭			

* 駐輪場 100台 駐車場 11台

1 1 - 2 市民会館運営委員会

市民会館運営委員会は、市民会館の適正な運営を図るため、武蔵野市立武蔵野市民会館条例第 18 条及び同条例施行規則第 14 条により設置されています。

運営委員会は、教育委員会の諮問に応じ、会館における事業の企画実施について調査し意見を述べるすることができます。運営委員会は委員 13 名以内で組織され、教育委員会が委嘱し、委員の任期は 2 年（再任は妨げない）です。

市民会館運営委員会委員名簿

(任期 平成 29 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日)

区 分	氏 名	備 考
第 1 号委員	若 槻 善 隆	市立第六中学校校長
第 2 号委員	佐々木 大 輔	武蔵野青年会議所理事長
	磯 田 廣 史	アトリエ・コスモ (定期利用団体)
	加 藤 力 弥	コーラスグループ「ドリーム」 (定期利用団体)
	佐 藤 崇 子	フローラ・むさしの (定期利用団体)
	森 田 亮	市立第二小学校 P T A 会長
	大 鷲 美津江	西部コミュニティ協議会副会長
第 3 号委員	池 田 明 子	亜細亜大学法学部講師
第 4 号委員	長 坂 征	教育部生涯学習スポーツ課長

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

- 選出区分 第 1 号委員 市内に設置された各学校の長
第 2 号委員 市内の教育、学術、文化、産業、労働、社会教育事業等に関する団体または機関を代表する者
第 3 号委員 学識経験者
第 4 号委員 市職員
(武蔵野市立武蔵野市民会館条例施行規則第 14 条第 1 項 (1) ～ (4) 号)

11-3 市民会館自主事業

事業名		内 容	対象・回数・定員
青少年教育	子どもワークショップ	考える楽しさ、作る喜びを知り、創造力を養う。	小学3～6年生 1期 2教室 各回 24名
	遊びのミニ学校	親子で手作りの楽しさを味わう。	小学生とその保護者 2期 各3教室 各期 12～20組
成人教育	母と子の教室	母親は話し合いを通して仲間づくりをめざし、子どもは集団の中で遊ぶ楽しさを知る。	2歳から未就園児とその母親 3期 各7教室 20組
	親と子の広場	親子で楽しく遊び、親同士、子ども同士のふれあいの場とする。	1歳半から2歳半までの幼児とその親 4期 各4回 16組
	市民講座(美術・文学)	生活を豊かにするために、知識と教養を深める。	在住、在勤、在学 1期 1回 90名 3期 各3回 90名
	市民講座(料理)	家庭で作れる料理の指導を受け家庭生活に役立てる。	在住、在勤、在学 1期 1回 16名 2期 1回 16名 3期 1回 16名
団体育成交流	市民会館文化祭	定期利用団体の活動の成果を発表する場とする。	定期利用団体等 10月(6日間)
利用促進事業	利用者懇談会	利用者相互の情報交換を図るとともに会館利用についての意見要望を聴く。	利用者 年1回
	「交流」発行	定期的利用団体の紹介、会館の広報を通して、社会教育の振興を図る。	400部